

3. 学生相談室活動報告

1) 個別相談状況

平成23年度の学生相談室の相談体制は、専任カウンセラー2名、非常勤カウンセラー2名（週1日5時間ずつ）、兼任カウンセラーは人文社会科学部の1名の心理学教員（週1日90分）であった。平成23年度の来談者は277名、のべ来談者数（相談回数）は1803名であった（22年度224名／1118名）。1人あたり平均6.5回の相談を重ねたことになる。1回の平均面接時間は約47.9分であった（専任カウンセラー分のみ）。主要な相談統計を表1～9に示す。なお、表7は相談内容の分類法を示したものであり、全国学生相談研究会議の専任カウンセラーが中心になって作成した「学生相談の共通分類」（下山ら、1991）によっている。相談状況の概要は以下のとおりである。

- ・最近の特徴として4年生（留年生含）の相談が増えて1年生の相談が占める割合が減ってきている。学生センター等の他の窓口の充実や、誰かに相談するというスキルをまだ身につけていない入学生が増えているのではないかと考える。
- ・教職員からの学生に関する相談や、教職員の勧めで来談する学生の増加傾向は続いている。不適応傾向がみられる学生への教職員の働きかけが多くなってきたことの表れと思われる。
- ・メールでの相談が多くなっているが、これは学生本人とのやりとりよりも学生に関して教員や家族と連絡や連携する際に使用していることが多い。最近是指導教員や担任教員がメールで相談するケースが増えている。
- ・教職員の自分自身の問題での来談が昨年度から増加している。教職員のメンタルヘルスの問題や人間関係などのストレスを抱える職員が増えているのかもしれない。
- ・相談内容は昨年度同様、深刻で面接を重ねる必要がある心理性格の相談が中心であった。昨年度1人あたり平均5回であったのに対し6.5回に増えているのは、発達障害やそれを疑われる学生の修学上・生活上のサポートが増えていることも一因であろう。
- ・来談者数も相談回数も近年右肩上がりの傾向が続いているが、23年度の急増は22年1月から専任カウンセラーが増員して相談体制が充実したことが主な要因と考えられる。また3月におこった東日本大震災の影響を調べたアンケート調査で、症状があると判定された学生に面接を促したこともその一因である。

2) リラクゼーション・スペースの利用

簡易ベッド、ボディソニック・チェア、エアロバイク、椅子とテーブルを配置したリラクゼーション・スペースの平成23年度の利用者は240名であった。一般学生の他、学生相談室に来談した対人恐怖的傾向のある学生の一時的な休息場所としても利用されている。

3) 心理テストの利用

学生相談室では就職や進路選択、自己分析の際の一つの資料として利用してもらうために希望する学生に対して心理テストを実施している。行っているのは「Y G性格検査」、「東大式エゴグラム」、「V P I 職業興味検査」である。23年度は6名の受検者があった。

表1 性別来談者数

性別	来談者数	%
男 性	130	46.9
女 性	147	53.1
合 計	277	100.0

表2 学年別来談者数

学年	来談者数	%
1 年 生	39	14.1
2 年 生	35	12.6
3 年 生	50	18.1
4 年 生*	89	32.1
修士課程学生	26	9.4
博士課程学生	3	1.1
教 職 員**	23	8.3
そ の 他	8	2.9
不 明	4	1.4
合 計	277	100.0

*農学部獣医学科5、6年生・留年生を含む

**教職員の学生の件での相談は含まない

表4 来談経路別来談者数
(専任・非常勤カウンセラー分のみ)

来談経路	来談者数	%
新入生向けパンフレット	13	5.6
ポ ス タ ー	20	8.5
友 人 の 勧 め	9	3.8
センター診療室の勧め	43	18.4
教 職 員 の 勧 め	29	12.4
家 族 の 勧 め	11	4.7
カウンセラーの講義	5	2.1
継続・再来・その他	92	39.3
不 明	12	5.1
合 計	234	100.0

表3 所属別来談者数

所属	来談者数	%
人文社会科学部	53	19.1
教 育 学 部	53	19.1
工 学 部	67	24.2
農 学 部	72	26.0
教 職 員	23	8.3
そ の 他	7	2.5
不 明	2	0.7
合 計	277	100.0

表5 相談形態別のべ来談者数

形態	相談回数	%
面 接	1410	78.2
電 話	146	8.1
電子メール	247	13.7
そ の 他	0	0.0
合 計	1803	100.0

表6 相談対象別のべ来談者数

対象	相談回数	%
本 人*	1512	83.9
教 職 員	193	10.7
家 族	79	4.4
友 人	15	0.8
そ の 他	4	0.2
合 計	1803	100.0

*学生および教職員本人

表7 相談内容の分類

心理性格	心理的問題、性格理解、アイデンティティの確立など、自己の心理状態や性格に関する相談
対人関係	家族関係、友人関係、異性関係等の、対人関係に関する具体的なトラブルについての相談
心身健康	精神疾患、身体疾患への対処などの、心理面あるいは身体面の健康上の問題に関する相談
進路修学	就職、進学、再受験などの進路の問題、あるいは単位や勉強法などの修学上の問題に関する相談
学生生活	サークル活動、アルバイト、悪徳商法等の、学業以外の学生生活上の問題に関する相談

表8 相談内容別来談者数

相談内容	来談者数	%
心 理 性 格	143	51.6
対 人 関 係*	54	19.5
心 身 健 康	36	13.0
進 路 修 学	34	12.3
学 生 生 活	6	2.2
そ の 他	4	1.4
合 計	277	100.0

*ハラスメント相談を含む

表9 相談内容別のべ来談者数

相談内容	相談回数	%
心 理 性 格	1061	58.8
対 人 関 係	158	8.8
心 身 健 康	452	25.1
進 路 修 学	122	6.8
学 生 生 活	6	0.3
そ の 他	4	0.2
合 計	1803	100.0